

令和7年度 郡市医師会産業保健担当理事協議会

と き 令和7年12月18日(木) 15:00~15:30

ところ 山口県医師会6階 会議室

[報告:理事 吉水 一郎]

協議事項

(1) 県医師会主催・郡市医師会協力による産業医研修会について

吉水 令和6年度は6月から開催し、18回の研修会を実施した。令和7年度も同様に6月以降の開催、18回の研修会を企画しており、これまでに14回開催している。研修内容は、基礎実地・生涯実地の研修7回、基礎後期・生涯専門の研修11回を予定している。令和8年度の郡市医師会協力による産業医研修会の実施については、令和8年1月中に産業医部会の各支部に対し研修希望の調査を行う予定である(令和8年1月に通知済み)。

(2) 令和7年度からのMAMISの運用について

中村副会長 医師会会員情報システム「MAMIS」の導入に伴い、令和7年4月から、研修会を受講した際に付与される単位はMAMISに反映されるようになり、これまでの単位シールや受講証の発行は禁止となった。また、研修会の申請や産業医の新規・更新申請手続きは、現時点で「MAMIS」の機能が全て稼働していないため、紙の申請書を

使った手続きをしている。

更新手続きには、従来の更新申請書に代わる「登録情報」という書類を使用している。登録情報に必要な事項を記入して、単位シールを貼った手帳、MAMISの受講実績のページを印刷して県医師会へ返送し、その後日本医師会から新しい認定証が発行されるという流れになっている。また、産業医更新申請のコロナ禍特例措置は、2028年3月に終了するため単位の早めの習得が必要である。

県内の研修会については今までと同様に、県医師会から日医へ申請している。研修会主催者へ、受講者を募集する際には、研修会前にMAMISの登録を完了すること、受講者の「漢字氏名」、「フリガナ」、「生年月日」、「医籍登録番号」、「メールアドレス」、「電話番号又はFAX番号」の情報を収集してもらうようお願いしている。研修会終了後に、主催者が受講者名簿を県医師会へ提出し、県医師会でMAMISに登録している。研修会開催から2週間以内に単位を登録するようにしている。

令和7年4月から単位シールや修了証は配布禁止となり、4月以降に取得した単位は、

出席者

郡市担当理事

大島郡 野村 壽和
熊毛郡 満岡 裕
吉南 三好 正敬
美祢郡 吉崎 美樹
下関市 佐々木義浩
宇部市 加藤 圭彦
山口市 鳥居 廣明
萩市 宮内 嘉明

徳山 高橋 達雄
防府 山縣 三紀
岩国市 祖田由起子
山陽小野田 関 耕三郎
光市 田村 健司
柳井 吉田 一典
長門市 村田 高茂
美祢市 中元 起力

県医師会

会長 加藤 智栄
副会長 中村 洋
理事 藤井 郁英
理事 吉水 一郎

MAMISに登録されている。令和7年3月までに取得した単位はMAMISに反映されないため、手帳を更新の時期まで保管していただきたい。また、認定産業医及び認定健康スポーツ医の研修会を掲載した「認定産業医及び認定健康スポーツ医に係る研修会（講習会）検索サイト」が公開されているため、活用してほしい。

（3）産業保健活動推進全国会議の報告について

中村副会長 山口産保センターの研修について、令和6年度の実績は、専門的研修101回を実施している。専門的研修では参集型とWeb型を併用している。テーマ別の内訳として、令和6年度は参集型ではメンタルヘルスや職場環境を主に取り扱っており、Webについてはメンタルヘルス、ハラスメントが中心となっている。

個別訪問支援の令和6年度の実績は、メンタルヘルスと両立支援の個別訪問が全国平均を大きく上回っている。特にメンタルヘルスの309件は、全国1位の数字であり、この実績は旧メンタルヘルス促進員4名の尽力によるものである。この4名は令和6年度からメンタルヘルス・両立支援促進員を務めており、促進員だけでなくセンターの相談員や研修講師も務めて、活躍されている。また、エイジフレンドリーで活動されているため、後進の育成も課題となっている。相談実績については全国平均を大きく下回っており、近年は減少傾向が大きいため今後一層センターの周知を図っていくとのことである。

産保センターの両立支援窓口について、県内に10か所開設されている。各地域に窓口を分散してアクセスしやすいようになっている。

地域産業保健センターの概況について、県内の地域窓口は9か所あり、各窓口には、地域運営主幹、コーディネーター、登録産業医が配置されており、下松と岩国には登録保健師（コーディネーター兼務）が配置されている。徳山の地域窓口には、センターの保健師が常駐している。配置の経緯として、平成29年度に山口産保センターにおいて実施した「地域窓口での保健師の活用」という調査研究が発端となっている。当時、地域窓口の支援サービスに保健師が活用されていないという意見があり、保健師を派遣する調査研究を実施した。その調査が事業場から好評で、継続したサービスを希望する声もあったため、平成30年度に保健師を地域窓口配置して小規模事業場への保健指導を行うモデル事業を山口産保センターで実施した。その配置が効果的であったということで、平成31年の1月からセンターの常勤保健師として採用することとなった。

地域窓口全体の個別訪問の実績は、訪問件数は300件台で推移しており、保健師の訪問については令和4年度から少しずつ実績が上がっている。地域窓口全体の相談実績については全国平均より少ないが増加傾向にあり、今後も増加が見込まれている。

（4）その他

吉水 山口県医師会産業医基礎（前期）研修会を10月26日、11月16日に開催し、合計23名が受講した。

自動車保険・火災保険・交通事故傷害保険

医師賠償責任保険・所得補償保険・傷害保険ほか

あなたにしあわせをつなぐ

損害保険ジャパン株式会社 代理店
共栄火災海上保険株式会社 代理店
山福株式会社
TEL 083-922-2551